

教育費

教育委員報酬

163 万円
(前年度:163万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育全般の重要事項や基本方針などを決定します。

- 委員報酬 (4名) 163万円



財源

市の負担額 163万円

教育委員会運営費

32 万円
(前年度:32万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育委員会に関する事務を行います。

- 定例会等の会議、各種行事参加の旅費 18万円
- 教育委員視察研修 8万円
- 教育雑誌、切手、郵便代 1万円
- 市町村教育委員会連合会負担金 3万円
- 滑川市・中新川郡教育委員研修会負担金 2万円

財源

市の負担額 32万円

学校医・学校薬剤師報酬

371 万円
(前年度:371万円)

(担当: 学務課 総務係)

小中学校に学校医、薬剤師を配置し、全児童生徒の健康保持増進、環境整備を図ります。

- 学校医、学校歯科医、学校薬剤師、看護師への報酬 371万円



財源

市の負担額 371万円

教育研究奨励費

163 万円
(前年度:180万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育研究事業や学校教育に関する大会等への助成などを行います。

- 内地留学助成費 (教職員が大学で研究をするための費用) 40万円
- 学童体育大会等費用 15万円
- プラスバンド部の定期演奏会費用 10万円
- 各種会費、負担金 98万円

財源

市の負担額 163万円

教育費

健康診断・健康相談事業費 475万円 (前年度:438万円)

(担当: 学務課 総務係)

学校における児童生徒、就学予定の児童及び教職員等の健康保持増進を図るため、健康診断を実施します。また、障害を持つ児童生徒の就学指導を行います。

- 教育支援委員会関係費用 6万円
〔 委員報酬 2万円
個人調査票作成料等 4万円 〕
- 健康診断関係費用 447万円
〔 児童生徒健康診断委託料 286万円
尿検査、貧血検査(中2のみ)
心臓検診(小1、小4、中1のみ)
結核精密検査(一部)
教職員健康診断委託料 81万円
各種帳票印刷代 17万円
検診器具使用料及び滅菌料 63万円 〕
- 水質検査料 22万円
〔 飲料水検査料 5万円
学校プール水質検査料 17万円 〕

財源

市の負担額 475万円

奨学資金 628万円 (前年度:628万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由等により、高校や大学に進学困難な意欲と能力等を有する学生を支援します。

- 大学生への奨学金の貸与 384万円
市奨学生選考委員会で、認定された学生に対し、奨学金を支給します。
(卒業後、返済が必要)
- 大学生への奨学金の給与 144万円
市奨学生選考委員会で、認定された学生に対し、支援金を支給します。(返済不要)
- 〔 《給与・貸与》
県内大学等に在籍する学生 月2万円
県外大学等に在籍する学生 月4万円 〕
- 高校生への就学支援金の給与 100万円
市奨学生選考委員会で、認定された学生に対し、支援金を支給します。(返済不要)
1人年間20万円

財源

その他(繰入金) 628万円

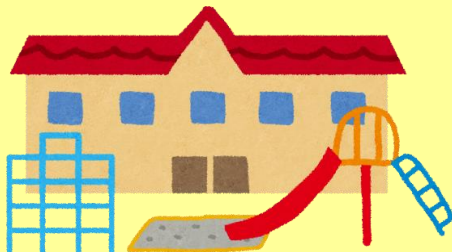
幼児教育振興費 13万円 (前年度:13万円)

(担当: 子ども課 児童福祉係)

幼児教育の振興を図るため支援をします。

- 私立幼稚園運営費補助金 13万円
幼児教育を担う市内私立幼稚園1園に対し、運営費の一部を補助します。

※対象園…希望幼稚園
(令和2年度から新制度に移行)



財源

市の負担額 13万円

【一部新】幼稚園運営事業費 2,756万円 (前年度:2,728万円)

(担当: 子ども課 児童福祉係)

満3歳から就学前の児童の幼児教育を行います。また、幼稚園の預かり保育などの利用料の無償化、旧制度の私立幼稚園等を利用する園児で第2子以降の園児の給食費補助を行います。

- 施設型給付費 2,432万円
新制度幼稚園に入園している児童の幼児教育に要する費用を幼稚園に支払います。
- 施設等利用給付費 265万円
幼稚園の預かり保育や国立幼稚園に入園している児童の利用料を無償化します。(上限あり)
- 幼稚園保育料軽減事業補助金 5万円
旧制度の私立幼稚園等を利用する第2子以降の園児の給食費を補助します。
(月額上限4,500円)
- 【新】保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金 54万円
幼稚園教諭等の収入を3%引き上げるための費用を市内私立幼稚園に支払います。

財源

国県支出金 1,932万円
市の負担額 824万円

奨学事業基金積立金 151 万円

(前年度:137万円)

(担当: 学務課 総務係)

奨学資金事業を運営するため積立します。

卒業生が返還するお金と利子を次の世代の奨学生のために、基金に積立します。

財源

その他 (奨学資金返済金)	150万円
その他 (基金利子)	1万円

教育のまちづくり事業基金積立金 1 万円

(前年度:1万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育のまちづくり事業基金の利子等を積立します。

・ 積立金 1万円



財源

その他 (基金利子)	1万円
------------	-----

教育委員会事務局事務費 452 万円

(前年度:451万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育委員会事務局の運営を行います。

- ・ 教育委員会事務局運営事業 442万円
旅費、燃料代、FAX使用料、切手代、コピー代など、教育委員会事務局の運営経費
- ・ 滑川高校と仁川海洋科学高校との国際交流に伴う助成金 10万円



財源

その他 (災害共済給付保護者負担金)	105万円
市の負担額	347万円

語学指導外国青年招致事業費 1,947 万円

(前年度:1,964万円)

(担当: 学務課 総務係)

外国語指導助手 (ALT) を配置し、児童生徒の英語力の向上を図ります。

ALT 4 人を小中学校に配置し、外国語授業や外国語活動のサポートを行います。



財源

その他 (家賃代)	121万円
市の負担額	1,826万円

教育費

不登校児童生徒適応指導事業費 363 万円 (前年度:356万円)

(担当: 学務課 総務係)

不登校の児童生徒に適切な指導を行うため、青志会館内に「あゆみ教室」を開設し、相談員を配置します。

- 報酬等 4人(常時3人体制) 342万円
- 指導助言及び技術指導謝礼 4万円
臨床心理士、陶芸等指導員など
- 運営費等 17万円
消耗品費、電話使用料、指導員研修旅費など

財源

市の負担額 363万円

心の教室相談員設置事業費 101 万円 (前年度:100万円)

(担当: 学務課 総務係)

児童生徒のいじめ、暴力及び不登校などの問題について対応する相談員を小中学校に設置し、児童生徒、保護者の不安や悩みの相談を行い、家庭・地域と学校との連携を支援します。

- 報酬等 相談員3人 94万円
- 運営費(電話料) 7万円



財源

市の負担額 101万円

特別支援教育推進事業費 2,122 万円 (前年度:2,159万円)

(担当: 学務課 総務係)

障害のある児童生徒をサポートするため、全小中学校へスタディメイトを配置します。また、上市町、立山町、舟橋村と協力して教育相談会(地区相談会)を実施します。

- スタディメイト関係費用 2,120万円

報酬等(22名)	2,114万円
研修旅費	6万円
- 地区相談会講師謝礼 2万円

財源

市の負担額 2,122万円

社会に学ぶ14歳の挑戦事業費 84 万円 (前年度:96万円)

(担当: 学務課 総務係)

中学校2年生を対象にボランティア活動や職場体験をする14歳の挑戦事業を実施します。

- 事業所指導ボランティア謝金 33万円
- 活動材料費 10万円
- 連絡用切手、生徒・指導員保険料 33万円
- 検便検査委託料 8万円



財源

国県支出金 42万円
市の負担額 42万円

学校司書配置事業費 541 万円
(前年度:540万円)

(担当: 学務課 総務係)

全小中学校に学校司書を配置し、子ども図書館等と連携して、読書活動の推進、読書環境の充実を図ります。また、読み聞かせボランティアを配置し、朝読書の習慣化を図ります。

- 学校司書報酬等 539万円
専任1人 兼務4人
- 学校司書研修旅費 1万円
- 読み聞かせボランティア保険料 1万円



財源

市の負担額

541万円

学校評議員設置事業費 75 万円
(前年度:75万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小中学校に学校評議員を設置し、より地域に開かれた学校づくりを推進します。

各学校に学校評議員を5名設置します。



財源

市の負担額

75万円

小学校英語活動推進事業費 82 万円
(前年度:82万円)

(担当: 学務課 総務係)

外国語に堪能な地域人材を小学校英語活動支援員として学校に配置し、英語力の向上を図ります。(小学校3・4年生対象)

- 支援員報酬等



財源

市の負担額

82万円

学力向上プラン研究事業費 44 万円
(前年度:44万円)

(担当: 学務課 総務係)

確かな学力向上のために、小中学校で拠点校を指定し、実践的な取り組みを行うなど、学力向上を目指します。

- 指導助言、講師謝礼等



財源

国庫支出金

44万円

教育費

スクール・ガードリーダー配置事業費 14 万円 (前年度:14万円)

(担当: 学務課 総務係)

登下校時の不審者等による犯罪から児童生徒を守るため、スクール・ガードリーダーを配置し、児童生徒の安全を見守る体制を整備します。

- ・スクール・ガードリーダーの配置
通学路見回り、防犯教室の開催等



財源

国県支出金	9万円
市の負担額	5万円

科学・理数・ものづくり教育推進事業費 155 万円 (前年度:154万円)

(担当: 学務課 総務係)

科学・理数教育を推進し、ものづくりのまち滑川にふさわしい人材育成を図ります。

- ・観察実験アシスタント整備事業 55万円
理科の観察実験をサポートする観察実験アシスタントを配置します。
- ・エネルギーに関する教育支援事業 100万円
 - ①エネルギーに関する教育に使用する教材を整備します。
 - ②ワンダーラボでエネルギーに関する教育を受けます。

財源

国県支出金	118万円
市の負担額	37万円

【一部新】教育センター運営費 1,382 万円 (前年度: 981万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育センターの各種事業を推進します。

- ・報酬等 635万円
 - 〔コンピュータコーディネータ(2名) 508万円〕
 - 〔教育センター事務員 127万円〕
- ・研修会等の開催費 22万円
- ・教育センターの運営費 291万円
- ・【新】GIGAスクール運営費 434万円
 - 〔支援センターの設置〕
 - 〔GIGAスクール用ネットワークの改修等〕

財源

国県支出金	174万円
市の負担額	1,208万円

学校給食共同調理場管理運営費 7,744 万円 (前年度:6,729万円)

(担当: 学務課 学校給食共同調理場)

市内の小中学生に給食を提供するための共同調理場の管理運営を行います。

- ・調理員報酬等 3,272万円
- ・燃料費・光熱水費 2,062万円
- ・給食配送等の委託料 1,513万円
- ・施設や調理機器の修繕費 464万円
- ・その他運営費 433万円

<参考>

給食数: 2,941食/日 (R3.5.1現在)
年間給食実施数: 185日 (R3年度)

財源

市の負担額	7,744万円
-------	---------

小学校管理費 9,381 万円

(前年度:9,259万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小学校の維持管理を行います。

校務助手雇用経費、消耗品、光熱水費
電話料、切手代、備品購入など、小学校の
維持管理経費

財源

市の負担額 9,381万円

スクールバス運行管理費 124 万円

(前年度:128万円)

(担当: 学務課 総務係)

通学が困難な山間部に住む児童のために、ス
クールバスを運行します。

運転手雇用経費、車両検査料、燃料代など



財源

市の負担額 124万円

小学校教育振興推進費 986 万円

(前年度:979万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小学校の教育振興を図ります。

児童用図書や副読本、教材備品、教職員用
図書など、授業に必要な教材や資料を整備
します。

財源

市の負担額 986万円

小学校情報教育設備充実費 1,931 万円

(前年度:1,773万円)

(担当: 学務課 総務係)

各学校にパソコン及び周辺機器を整備し、ICT
関連の情報教育環境を整えます。

- 各学校のICT関連機器の維持管理
小学校の教員、児童用パソコンシステム等の
維持管理を行います。



財源

市の負担額 1,931万円

教育費

要・準要保護児童就学援助費 853 万円 (前年度:822万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由から就学が困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費などを支給することで、教育機会の均等を支援します。

- 学用品等の支給

財源

市の負担額	853万円
-------	-------

小学校特別支援教育就学奨励費 79 万円 (前年度:71万円)

(担当: 学務課 総務係)

特別支援学級に就学・在籍する児童の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を助成します。

- 学用品等の支給

財源

国県支出金	39万円
市の負担額	40万円

小学校営繕費 848 万円 (前年度:1,294万円)

(担当: 学務課 総務係)

小学校の施設及び設備等について、老朽化等による損傷箇所の営繕や予防保全改修を実施し、安全で快適な学習環境を確保します。

- 各学校施設の緊急営繕
- 各学校施設の予防保全改修

財源

市の負担額	848万円
-------	-------

中学校管理費 4,757 万円 (前年度:4,652万円)

(担当: 学務課 総務係)

各中学校の維持管理を行います。

校務助手雇用経費、消耗品、光熱水費、電話料、切手代、備品購入など、小学校の維持管理経費

財源

市の負担額	4,757万円
-------	---------

中学校教育振興推進費 826 万円

(前年度:1,456万円)

(担当: 学務課 総務係)

各中学校の教育振興を図ります。

生徒用図書や副読本、教材備品、教職員用図書など、授業に必要な教材や資料を整備します。

- 部活動指導員配置事業 123万円
部活動指導員(3名)を配置します。



財源

国県支出金	78万円
市の負担額	748万円

中学校情報教育設備充実費 1,104 万円

(前年度:1,436万円)

(担当: 学務課 総務係)

各学校にパソコン及び周辺機器を整備し、ICT関連の情報教育環境を整えます。

- 各学校のICT関連機器の維持管理
中学校の教員、生徒用パソコンシステム等の維持管理を行います。



財源

市の負担額	1,104万円
-------	---------

要・準要保護生徒就学援助費 1,062 万円

(前年度:1,172万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由から就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などを支給することで、教育機会の均等を支援します。

- 学用品等の支給

財源

市の負担額	1,062万円
-------	---------

中学校特別支援教育奨励費 35 万円

(前年度:58万円)

(担当: 学務課 総務係)

特別支援学級に就学・在籍する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を助成します。

- 学用品等の支給

財源

国県支出金	17万円
市の負担額	18万円

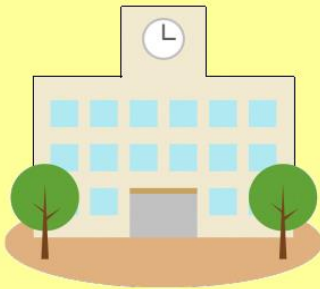
教育費

中学校営繕費 215万円 (前年度:1,564万円)

(担当: 学務課 総務係)

中学校の施設及び設備等について、老朽化等による損傷箇所の営繕や予防保全改修を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

- ・ 各学校施設の緊急営繕
- ・ 各学校施設の予防保全改修



財源

市の負担額 215万円

社会教育委員会費 31万円 (前年度:24万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

社会教育委員に対して、市の社会教育及びスポーツ関連の事業について説明、報告します。委員からの意見を参考に、事業改善を図ります。

- ・ 委員への報酬 20万円
委員13名(市内小中学校長2名を除く)への委員報酬です。
- ・ 東海北陸社会教育研究愛知県大会の参加費等 10万円
- ・ 事務費等 1万円



財源

市の負担額 31万円

家庭教育推進費 23万円 (前年度:23万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

子どもたちの「心の居場所」となる家庭づくりのために、保護者を対象とした各種講座を開催します。

- ・ 講師謝礼 21万円
※内訳
「親学び講座」 12万円
幼児、児童、生徒をもつ保護者対象
「子育て講座」 6万円
次年度小学校に入学する子どもをもつ保護者対象
「青少年健全育成に関する講演」 3万円
- ・ 事務費 2万円



財源

市の負担額 23万円

放課後子ども教室開催費 253万円 (前年度:279万円)

(担当: 子ども課 家庭福祉係)

放課後等に全ての児童を対象として、地域住民の参画のもと、学習や体験・交流活動を行い、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

- ・ 放課後子ども教室
各小学校と子ども図書館において、平日の放課後と夏休み等に実施。
茶道、工作、スポーツ、学習などの活動を行います。(全8教室)
- ・ 土曜子ども教室
児童館において土曜日に実施。
クッキング、スポーツ、茶道などの8つのプログラムを実施します。

財源

国県支出金 165万円
市の負担額 88万円

青少年健全育成事業費 32万円

(前年度:33万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

青少年の健全な発達を支援するため、青少年育成滑川市民会議への助成と、少年補導委員による補導活動や環境浄化活動を推進します。

- 補導委員謝礼 16万円
委員は20名以内で、年間15回の巡回補導等を実施します。
- 補導センター運営協議会委員謝礼 7万円
年間2回実施し、活動計画や報告を行い、委員から改善点等を聞きます。
- 青少年育成滑川市民会議助成金 3万円
- 事務費 6万円

財源

市の負担額 32万円

成人式開催費 64万円

64万円

(前年度:66万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

新たに成人を迎える若人の前途を祝福するとともに、新成人の代表が実行委員となり、社会人としての自覚と誇りを促すために成人式を実施します。

- 成人者への記念品 30万円
実行委員会で記念品の候補を挙げてもらいます。
- 成人のしおり、案内はがき等 20万円
成人式の案内はがきの印刷と当日配布するしおりを製作します。
- 協力者への謝礼 2万円
- 事務費等 12万円



財源

市の負担額 64万円

男女共同参画推進事業費 78万円

(前年度:78万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

男女共同参画社会の実現をめざし、「滑川市男女共同参画計画」に基づき啓発活動を推進します。

- 各地区の推進員による啓発活動 64万円

推進員への謝礼	36万円
9地区連絡会への委託料	27万円
推進員保険料	1万円
- 公開講座の開催費 10万円
市民向けに講演会を開催します。
- 事務費 4万円



財源

市の負担額 78万円

文化芸術振興費 1,107万円

1,107万円

(前年度:1,106万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

音楽や俳句関連の事業を実施し、文化・スポーツ振興財団の自主事業を支援するなど、文化芸術を振興します。

- 俳句教室等の開催 9万円
- 音楽鑑賞会の開催 33万円
- 音楽教室の開催 27万円
- 学校文化施設開放事業費 38万円
- 文化・スポーツ振興財団活動助成金 1,000万円



財源

市の負担額 1,107万円

教育費

市美術展開催費 57万円

(前年度:60万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

美術作品の制作や鑑賞を通じて市民の情感豊かな心を育み、文化の向上を図ることを目指し、「滑川市美術展」を開催します。

- ・ 作品看視員報酬等 7万円
- ・ 審査員や運営委員への謝礼 12万円
- ・ 入賞者賞金 26万円
- ・ ポスター・出品目録印刷代 7万円
- ・ 事務費 5万円



財源

市の負担額

57万円

ネブタ流し継承事業費 30万円

(前年度:29万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

国指定重要無形民俗文化財「滑川のネブタ流し」を次代へ継承するため、寺家小学校児童へ伝習活動を行い、また保存会へ助成します。

- ・ 来年度用ワラ代 (収集作業委託費含む) 10万円
- ・ ネブタ流し保存会補助金 (4町内会) 10万円
- ・ 事務費等 2万円
- 【寺家小分】
- ・ ネブタ材料代 (竹材、木材、藁縄、野菜など) 5万円
- ・ ネブタ製作指導謝礼、運搬・組立費 3万円

財源

市の負担額

30万円

文化財保存調査費

87万円

(前年度:317万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

市内にある文化財の保存・管理や調査をします。また市内の土地を開発する際に、事前に埋蔵文化財の有無を確認するため発掘調査します。

- ・ 文化財調査審議会・文化財保護調査委員会の開催 9万円
文化財の調査や指定、保護などについて話し合う会議を開きます。
- ・ 滑川市内古建築第2次調査(第4回) 10万円
市内の古い建築物の特徴や建築年代などを調査します。
- ・ 立山黒部ジオパーク現地見学会の開催 2万円
立山黒部ジオパークに含まれる、市内のジオサイトをめぐる見学会を行います。
- ・ 埋蔵文化財調査費および史跡・文化財の維持管理など 59万円
遺跡の発掘調査、史跡や天然記念物周辺の草刈り、文化財の修繕などをします。
- ・ 史跡などの看板修繕 5万円
市内の史跡や天然記念物の看板を修繕します。
- ・ 事務費 2万円

財源

市の負担額

87万円

ディスカバー「滑川」ふれあい事業費

77 万円

(前年度:78万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

学校と地域の連携をいっそう深め、協力しながら児童・生徒を育みます。地域社会や家庭の教育力を高め、児童・生徒が地域へ働きかける体験活動を通して、主体的に判断し、行動する能力を身に付けるため、4つの活動を柱に実施します。

- ・ 学校地域交流事業 33万円
市内小中学校の児童会や生徒会が中心となり、地域清掃、募金活動、エコキャップ回収などのボランティア活動や、あいさつ運動、高齢者や障害者との心のふれあい活動を推進します。
- ・ ふるさと探検事業 11万円
滑川のよさを見直し、ふるさとに対する愛着を深めるために、小学生とその保護者を対象に、滑川の自然・文化・歴史に関する体験学習を実施します。
(ホテルイカ解剖教室、ホテル観賞会、食育教室、ジオパーク体験 等)
- ・ 郷土偉人顕彰事業 16万円
郷土の偉人の業績を周知し、郷土を愛する心を育てます。
(東福寺野自然公園写真会、郷土偉人ミニコンサート、展示会)
- ・ 子どもサミット事業 17万円
次代に活躍する子供たちの代表が一堂に会し、「滑川」の将来について意見交換します。事前に体験学習や研修を行い、会議の活性化を図ります。

財源

市の負担額	77万円
-------	------

ふれあいのバス派遣事業費 **254 万円**

(前年度:247万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

姉妹都市豊頃町へ小学生を派遣し、豊頃町の小学生との交流を通して、相互理解と友好親善を図ります。

- ・ ふれあいのバス事業旅行業務委託料
- ・ その他派遣に必要な経費



財源

その他(参加者負担金)	110万円
市の負担額	144万円

社会教育事務費

225 万円

(前年度:227万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

社会教育に関する事業や事務を行います。

- ・ 社会教育指導員報酬等 127万円
社会教育の振興を図ることを目的に、博物館に1名配置します。
- ・ 全国大会、地区大会出場者激励金 7万円
- ・ 青少年文化財体験学習施設維持管理経費
(光熱水費、消防設備の保守点検など) 15万円
- ・ 宿場回廊案内板、輪転機などの修繕料 8万円
- ・ 各種団体育成指導費(補助金) 32万円
- ・ 事務費、庁用車の維持管理費等 36万円

財源

市の負担額	225万円
-------	-------

教育費

公民館運営審議会委員費 14万円 (前年度:14万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

公民館の事業について公民館運営審議会を開催し、事業や運営について審議します。

- ・委員への報酬 13万円
- ・その他事務費 1万円

年に2回公民館運営審議会を開催し、中央公民館と地区公民館の事業や運営について報告説明し、審議会委員が審議します。



財源

市の負担額

14万円

心豊かなまちづくり推進費 135万円 (前年度:135万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館を拠点に、各種体験教室や多世代交流活動、地域の文化や歴史を学ぶふるさと教育の推進を図ります。

- ・「心豊かなまちづくり推進事業」の実施を9地区公民館に委託します。 135万円

《事業の内容》

地域の人材を活かした多世代のふれあい活動を実施します。

ふるさと滑川の歴史・文化に対する理解を深め愛着を育むふるさと講座を開催し



財源

市の負担額

135万円

【一部新】社会教育活動総合事業費

131万円
(前年度:144万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

いつでも、どこでも、誰もが、自ら気軽に学べるよう、各世代の生涯学習の機会を提供するため、各種教養講座、教養教室等を開催します。また、生涯学習情報紙を発行し、市民の生涯学習に関する関心を高め、参加の促進を図ります。

- ・ふるさと市民大学 39万円
各界で活躍中の郷土ゆかりの講師を招き、政治、経済、科学、文化、芸術、芸能などの一般教養を主とした講座を開催します。
- ・福寿大学 26万円
市内在住60歳以上の市民を対象として、各種教養講座の開催や野外活動等を実施します。
- ・【新】福寿大学開校55周年記念事業 7万円
- ・中央公民館教養教室、くらしの窓（教養講座） 42万円
料理、スマホ教室、各種体験教室を開催します。各種趣味の講座を開催し、趣味を生かしてのサークル活動を進めるとともに生きがいづくりを図ります。
- ・遊学のまち発行 17万円
情報紙「遊学のまち」を年2回、全戸配布し、市民に生涯学習の情報を提供します。

財源

市の負担額

131万円

郷土芸能活性化事業費

73 万円
(前年度:73万円)

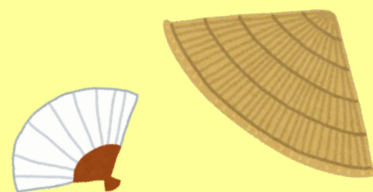
(担当: 生涯学習課 振興係)

伝統文化の保存と継承を図るため、郷土芸能育成団体へ助成を行うほか、全小中学校で保存会等と連携し、新川古代神の伝承活動を実施します。

- 講師謝礼 30万円
新川古代神踊りの指導のために、全小中学校に講師を派遣します。
小学校は運動会で、中学校は龍宮まつり、体育大会で披露します。
- 扇子、あじろ笠等の購入 34万円
新川古代神踊りで使用する物品を購入し、全小中学校へ配布します。
- 郷土芸能育成団体への運営補助金 9万円

内訳

新川古代神保存会	5万円
加島町獅子舞保存会	2万円
松坂踊り保存会	2万円



財源

市の負担額 73万円

地区公民館活動推進費 2,899 万円
(前年度:2,900万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館の活動を推進します。

- 報酬等 1,789万円
市内9地区公民館に館長・主事・主事補・指導員を各1名、1分館に分館長1名を配置します。
- コミュニティづくり推進事業委託料 367万円
地区公民館を拠点とした活動を助成します。
「コミュニティづくり推進事業」の実施を9地区公民館・1分館に委託します。
- 公民館管理費 743万円
光熱水費、設備点検料、保険料等

財源

市の負担額 2,899万円

地区公民館整備費 40 万円
(前年度:1,268円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館の損傷箇所等の不具合を修繕します。

- 各地区公民館の修繕等

財源

市の負担額 40万円

教育費

中央公民館管理運営費 352 万円 (前年度:642万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

中央公民館の運営を行います。

- ・ 公民館職員の報酬等 316万円
- ・ 管理運営費 36万円
事務用品、電話料、印刷機のリース料など



財源

市の負担額

352万円

【新】自治公民館建設補助金 250 万円 (前年度:-万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

自治公民館の建設に対する補助を行います。

- ・ 【新】沖田新下島公民館新築補助金

財源

市の財源

250万円

公民館事務費 35 万円 (前年度:31万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

公民館に関する事業や事務を行います。

- ・ 地区公民館の建物総合損害共済金 4万円
- ・ 研修会参加負担金等 14万円
県公民館連合会分担金
東海北陸公民館大会(富山県)負担金等 9万円
- ・ 事務費等 8万円

財源

市の負担額

35万円

図書館管理費 1,669 万円 (前年度:1,645万円)

(担当: 生涯学習課 図書館)

施設の維持・管理を行います。

- ・ 施設設備保守点検業務等 706万円
(警備、空調設備、エレベーター等)
- ・ 施設設備の修繕・工事費 135万円
- ・ 光熱水費 468万円
- ・ その他の維持管理費用 56万円
(消耗品、電話料、事務機器リース等)
- ・ 人件費(司書) 304万円

財源

市の負担額

1,669万円

図書館運営費 1,599 万円

(前年度:1,560万円)

(担当: 生涯学習課 図書館)

図書の貸出や収集等、図書館の運営を行います。

- ・図書館協議会委員報酬 6万円
- ・読書会等講師謝礼 13万円
- ・図書、雑誌等の購入及び登録経費
(登録用システム使用料含む) 666万円
- ・図書館システム経費 172万円
- ・協会費、負担金等 4万円
(日本図書館協会、富山県図書館協会等)
- ・事務費 102万円
(運営用消耗品、喫茶コーナー消耗品等)
- ・人件費(受付窓口補助員) 636万円

財源

その他(喫茶売上金)	68万円
市の負担額	1,531万円

子ども図書館管理運営費 1,639 万円

(前年度:1,634万円)

(担当: 生涯学習課 子ども図書館)

子育て支援機能を併せ持つ子ども図書館の管理運営を行います。

- ・館内展示作品製作 5万円
- ・図書等の購入、登録経費 131万円
- ・図書館システム経費 57万円
- ・運営用機器リース経費 35万円
(防犯カメラ、コピー機等)
- ・図書、施設管理経費 5万円
- ・交流プラザ共益費(電気・水道・清掃等) 180万円
- ・運営用消耗品等 87万円
- ・人件費(司書、保育士、受付窓口補助員) 1,139万円

財源

市の負担額	1,639万円
-------	---------

本とのふれあい推進事業費 65 万円

(前年度:64万円)

(担当: 生涯学習課 子ども図書館)

子どもたちの読書活動の支援、子育て支援を目的とし、子ども図書館において、おはなし会、ワークショップ等を開催します。

- ・おはなし会、子ども映画会 6万円
- ・子育て支援講座、子どもおたのしみ会等 36万円
- ・ブックスタート事業 17万円
すべての赤ちゃんに絵本を1冊プレゼントします。
(4か月児健診受診後～1歳の誕生日)
- ・県図書館協会ナビゲーション事業 6万円
市内各小学校にて出張おはなし会を実施します。また、読み聞かせボランティア等を対象に、講習会を開催します。



財源

その他(県図書館協会)	3万円
市の負担額	62万円

博物館管理費 1,111 万円

(前年度:1,058万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

博物館の維持、管理を行います。

- ・施設設備保守点検業務等 506万円
(警備、空調設備、エレベーターなど)
- ・施設設備の修理等 90万円
- ・光熱水費 367万円
- ・庁用車リース料等 75万円
- ・事務費等 73万円



財源

市の負担額	1,111万円
-------	---------

教育費

博物館運営費 295 万円

(前年度:305万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

滑川市美術協会や市内の連盟(日本画・洋画・書道・写真)の作品展や小中学生を対象とした科学教室の開催、博物館資料の収集などをします。

- ・博物館協議会の開催 7万円
- ・美術協会展・連盟展の開催 18万円
- ・子ども科学教室開催費 29万円
- ・博物館だより印刷代 5万円
年1回「博物館だより」を作成し、県内外の博物館、美術館などへ配布します。
- ・各種協議会等の負担金等 15万円
(日本博物館協会、富山県博物館協会など)
- ・事務費、資料購入費等 74万円
- ・ミュージアムカフェ運営費 147万円

財源

その他(カフェ売上金)	30万円
市の負担額	265万円



【新】展覧会等開催費

288 万円

(前年度:270万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

特別展「本江遺跡展(仮題)」・企画展「新川の町絵図展(仮題)」を開催予定です。また、令和5年度の企画展「滑川の売薬資料展(仮題)」の開催準備も行います。

- ・特別展「本江遺跡展(仮題)」(7~9月) 178万円
滑川市唯一の県指定文化財「本江遺跡」は、令和4年で指定50周年を迎えます。これを記念して、県内屈指の出土量を誇る多様な縄文土器を展示するとともに、県指定のきっかけとなった五角形の住居跡(古墳時代)などもあわせて紹介します。
- ・企画展「新川の町絵図展(仮題)」(11~12月) 64万円
北陸街道の宿場町として栄えた滑川町、街道沿いにあったため町場化した高月村など、現在の滑川市域の江戸時代の絵図を展示するとともに、新川地域の宿場町や在郷町などの様子もあわせて紹介します。
- ・企画展「滑川の売薬資料展(仮題)」(令和5年度春季開催予定) 46万円
滑川の売薬さんたちが使用した行商・製薬道具や資料などを展示します。



財源

市の負担額	288万円
-------	-------

青志会館管理運営費 507 万円

(前年度:550万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地域交流センター青志会館の管理運営を行います。

- ・ 教養教室 10万円
- ・ 青志会館管理運営費 150万円
消耗品、光熱水費、切手代、電話料金、
設備の保守点検、修繕などの経費
- ・ 人件費 347万円

地域住民を対象とし、趣味・特技を生かした教養教室やスポーツ教室の開設、サークル活道や余暇を楽しむための施設の提供などを行なっています。



財源

市の負担額 507万円

働く婦人の家管理運営費 700 万円

(前年度:746万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

働く婦人の家の管理運営を行います。

- ・ 教養教室、啓発講座講師謝礼等 57万円
- ・ 働く婦人の家管理運営費 160万円
消耗品、光熱水費、切手代、電話料金、
設備の保守点検など
- ・ 人件費 483万円

技術や教養を習得する教養講座の開設、サークル活動や仲間づくりの場としての施設の提供などを行なっています。

財源

市の負担額 700万円

青雲閣管理運営費 2,149 万円

(前年度:2,155万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

東福寺野自然公園研修センター青雲閣の管理運営を行います。

- ・ 青雲閣指定管理料 2,131万円
《指定管理者》
文化・スポーツ振興財団
- ・ マイクロバス管理費用 18万円
(車検費用、自賠責保険など)

財源

市の負担額 2,149万円

スポーツ推進委員費 254 万円

(前年度:259万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内9地区の公民館から選出されたスポーツ推進委員が、各地区のスポーツ行事や市のスポーツイベントの運営、ニュースポーツの普及を図ります。

- ・ 委員40名への報酬 220万円
- ・ 広報誌の発行 6万円
広報誌「スポーツパラダイス」を年2回発行します。
- ・ ニュースポーツ研修会の委託 2万円
ニュースポーツの普及を図るための研修会を市スポーツ推進委員協議会へ委託します。
- ・ スポーツ推進委員研修会参加助成金 19万円
全国、北陸地区、県などで開催される研修会の参加負担金を助成し、委員の資質向上を図ります。

財源

市の負担額 254万円

教育費

市民体育大会費 175 万円 (前年度:175万円)

(担当:スポーツ課 振興係)

市民体育大会の開催を市体育協会に委託しています。24競技が行われ、県民体育大会の予選会として毎年開催しています。

- 第75回市民体育大会開催費 175万円
(市体育協会へ委託)
賞状の印刷費や、選手保険料、審判謝礼、消耗品、会場使用料等の大会運営経費に充てられます。



財源

市の負担額 175万円

スポーツエキスパート派遣事業費 55 万円 (前年度:65万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内中学校の運動部へ専門的な経験をもつ外部指導者を派遣します。運動部生徒の競技力向上を図り、活動が充実したものになるように支援します。

- スポーツエキスパート報償費 53万円
両中学校合わせて最大11名、年間24回派遣
(県補助事業 報償費の1/3)
- 保険料 2万円



財源

国県支出金 18万円
市の負担額 37万円

市民スポーツ振興費 1,876 万円 (前年度:1,881万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツの振興を目的として、スポーツ振興審議会の開催や市民スポーツ大会等の開催費用、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等の活動に対し助成します。

- スポーツ振興審議会委員報酬 7万円
学識経験者の方などと市のスポーツ振興について、年2回話し合います。(委員8名)
- 全国大会等出場者への激励費 30万円
国民体育大会や全国大会などに出場する市出身選手(一般)に対し激励費を支給します。
- 各種大会助成費 223万円
 - 県民体育大会への派遣や各種市民スポーツ大会の開催(10種目+武道大会)を市体育協会へ委託します。 208万円
 - バウンドテニス交流大会の開催費を助成します。 15万円
- 各種補助金 1,616万円
 - スポーツ少年団育成補助(市内25団体) 25万円
 - 総合型地域スポーツクラブ活動助成 150万円
 - 温水プール運営費補助(公益財団法人体力づくり指導協会へ助成) 1,374万円
 - バス運行補助(市体育協会へ助成) 63万円 など

財源

市の負担額 1,876万円

トップアスリート育成費

508 万円
(前年度:437万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

オリンピック・パラリンピックをはじめ将来の大会を見据え、本市のジュニアアスリート等の育成や支援を行います。

- ・ 中学校全国大会等派遣助成 90万円
全国・北信越中学校体育大会への出場に際し交通費や宿泊費を助成します。
- ・ 全国大会等出場者への激励費 115万円
 { 小中高生の全国大会等出場者激励費 103万円
 国際大会出場者激励費及び応援懸垂幕設置費 12万円 }
- ・ トップアスリート講座 42万円
トップアスリートを招き、講演会や実技指導の講習会を開催します。
- ・ スポーツトレーニングスクール 22万円
部活動を引退した中学3年生を対象に、特別講師を招きトレーニングスクールを開催します。
- ・ 屋内運動場トレーニング講習会 9万円
屋内運動場を利用した冬場のトレーニング講習会を行います。
- ・ 市体育協会へ競技力向上等のための事業委託 210万円
 { 競技団体等強化育成費 180万円、市民スポーツ大学開催費 10万円
 ジュニアスポーツ教室開催費 20万円 }
- ・ 中学校競技専門部強化育成補助金 20万円
(市中学校体育連盟へ助成)



財源	
市の負担額	508万円

子どもの体力向上推進事業費 73 万円

(前年度:67万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

子どもの体力向上について、市内全認定こども園、幼稚園、保育園(所)、小学校、中学校と連携し、継続的な視点での取り組みを支援します。

- ・ プレイリーダー派遣費 60万円
幼・保・小学校に年2回程度プレイリーダーを派遣し、運動好きな子どもの育成に継続的に取り組みます。
- ・ 指導者養成講習会 3万円
保育士、教諭を対象に子どもの体力向上に効果的な運動の仕方を学ぶ講習会を開催します。
- ・ 取組報告書作製費 5万円
小中学生の体力テスト結果や各学校の取組状況を掲載した「子どもの体力向上への取組報告書」を作製を作製します。
- ・ スポーツ少年団交流大会開催委託料 (市スポーツ少年団へ委託) 5万円

財源

国県支出金	10万円
市の負担額	63万円

ジュニアスポーツサポート事業 29 万円

(前年度:29万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

休日や平日夕方の時間帯、中学生を対象に、専門的な知識をもつ指導者が、質の高い基礎トレーニング等を行い、体力向上・競技力向上を目指します。

- ・ 講師謝礼(専門的な指導者等) 19万円
- ・ チラシ印刷費 3万円
- ・ 参加者保険料 4万円
- ・ 会場使用料 3万円



財源

市の負担額	29万円
-------	------

教育費

ほたるいかマラソン開催助成費 200万円 (前年度:200万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

健康増進・交流を図ることを目的に、本市最大のスポーツイベントである「ほたるいかマラソン」の開催を支援します。

- 第24回ほたるいかマラソン運営補助金
(市体育協会へ補助) 200万円

【過去のゲストランナー】

高橋尚子さん、有森裕子さん、増田明美さん
間寛平さん、東国原英夫さん、石原良純さん
東洋大学陸上競技部女子長距離部門の皆さん
エリック・ワイナイナさん
川内勇輝さん、野々村真さん など



財源

市の負担額

200万円

市民スポーツフェスタ開催費 50万円 (前年度:50万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民参加型の総合スポーツイベント「第10回市民スポーツフェスタ」の開催を市体育協会へ委託します。

- 開催委託料 50万円
(市体育協会へ委託)

市内で開催されるスポーツイベントの総合開会式としてオープニングセレモニーを開催し、各競技団体、スポーツ少年団、老人クラブが協力しスポーツ意識の高揚を図ります。
セレモニー終了後は、スポーツ体験イベントやスポーツ施設の無料開放、各競技団体の市民体育大会が開催されます。



財源

市の負担額

50万円

夢の教室開催費 214万円 (前年度:242万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツ選手やそのOB/OGを「夢先生」として迎え、小学校5年生、中学校2年生の全学級において特別授業を開催します。中学校においてスポーツ教室を各1回実施します。

- 開催委託料 211万円
(日本サッカー協会・
こころのプロジェクト推進室へ委託)



財源

市の負担額

214万円

スポーツ・健康づくり推進事業費 74万円 (前年度:74万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツによる健康づくり推進のため、特に普段運動をしない方への働きかけを行い、スポーツ実施率の向上、スポーツを通じた健康長寿社会の創生を目指します。

- 健康づくり事業の実施 40万円
〔 消耗品等 30万円
講師謝礼等 10万円 〕
- ウォーキング教室等の開催 34万円
健康ウォーキング指導士による教室の開催や、ウォーキングしながら本市の観光などを楽しめるイベントを委託します。
〔 健康ウォーキング教室 6万円
ウォーキングイベント 8万円
ウォーキングコース誘導看板設置 20万円 〕

財源

市の負担額

74万円

ウォーキングサッカー大会開催費 46 万円
(前年度:46万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

老若男女、だれもが気軽に楽しめるウォーキングサッカーの大会を開催し、仲間と交流し、楽しみながら健康づくりができる機会をつくりま

- 講師及び審判謝礼等 29万円
大会に元Jリーガーなどを講師に迎え、大会を盛り上げます。
- 大会運営消耗品等 17万円



財源

市の負担額

46万円

宇津木杯ソフトボール交流大会開催費 77 万円
(前年度:77万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

元女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏の来滑を記念し、宇津木杯ソフトボール交流大会及びソフトボール教室を開催することにより、ジュニア層の競技力向上を目指します。

- 講師謝礼等 60万円
宇津木氏、トップアスリートへの講師謝礼市ソフトボール協会への審判及び大会運営に対する謝礼
- 大会運営消耗品等 17万円



財源

市の負担額

77万円

保健体育事務費 505 万円
(前年度:511万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツに関する事業や事務を行います。

- 研修会負担金等
スポーツ推進委員研修会等 7万円
県体育施設協会負担金 1万円
- 県社会教育主事派遣事業負担金 443万円
- その他事務費 54万円
消耗品費、庁用車リース料など



財源

市の負担額

505万円

社会体育施設管理費 502 万円
(前年度:617万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内小中学校グラウンド・体育館の市民への開放や、下梅沢テニスコート等の社会体育施設を適切に管理し、市民スポーツの振興を図ります。

- 施設管理費等 376万円
学校体育施設開放用消耗品等 21万円
グラウンド、体育館照明電気料 281万円
施設管理・修繕費等 74万円
- 社会体育施設管理委託料 126万円
下梅沢テニスコート指定管理料 (市体育協会へ委託) 111万円
千鳥スキー場指定管理料 15万円 (管理運営委員会へ委託)



財源

その他(使用料等)

170万円

市の負担額

332万円

教育費

テニス村管理運営費 4,034 万円 (前年度:4,010万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

みのわ温泉テニス村の管理運営を、文化・スポーツ振興財団へ委託します。

- みのわテニス村指定管理料 3,719万円
《指定管理者》
文化・スポーツ振興財団
- 各種修繕等 300万円
- 駐車場用地借上げ 15万円



財源

市の負担額 4,034万円

総合体育センター管理運営費 2,504 万円 (前年度:2,636万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合体育センターの管理運営を、市体育協会へ委託します。

- 総合体育センター指定管理料 2,504万円
《指定管理者》
市体育協会

財源

市の負担額 2,504万円

総合体育センター整備費 133 万円 (前年度:400万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合体育センターの修繕、改修を計画的に実施し、施設の長寿命化を図ります。

- 弓道場フェンス取替工事
- プロパンガス供給設備更新



財源

市の負担額 133万円

スポーツ・健康の森公園管理運営費 2,275 万円 (前年度:2,257万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツ・健康の森公園の管理運営を、市体育協会へ委託します。

- スポーツ・健康の森公園指定管理料
《指定管理者》 2,232万円
市体育協会
- 施設修繕料等 25万円
- 庁用車(軽トラック)リース料 18万円

財源

その他(公園使用料等) 110万円
市の負担額 2,165万円

【新】フットボールセンター富山整備費 1億2,000 万円
(前年度: -万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

傷みの激しいサッカーコート的人工芝を張り替えます。

- ・ サッカーコート人工芝1面張替 等



財源

その他 (JFA助成金)	3,000万円
その他 (toto助成金)	3,000万円
その他 (繰入金)	6,000万円

